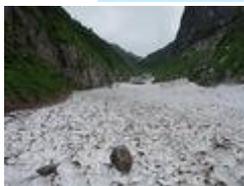


巻機山編集する

2010年08月08日 23:15 友人の友人まで公開

6 view



《写真1》 8月の割引沢

《写真2》 全身で登る、の巻。

《写真3》 熊笹オンパレード

ちょっと日帰り山行を、という気分で出発したはずなのに、振り返れば、何ともアドベンチャーな一日となりました... 🐼

(→おススメ度: ★☆☆☆☆)

(→いや、紅茶んや、宋一孝には、おススメかも!?)

【8月1日(日)】

北鎌と一緒に歩いた Yさんと Kさんも、同日天狗尾根コースを登るそうで、前日には駐車場入り。当日は5時に登山口を出発。

他方おれは、夜中の2時にロンと東京を発つ🚗👉👈 寝不足のまま朝7時過ぎには登山口を出発。Yさ

ん達を追跡開始!! 🍌

※事前に分かっていた情報

★天狗尾根コースは、急斜面のため、下山禁止の登り専用ルート。

★ネット上の山行記録は9～10月のものばかり(=8月は雪渓が残り、一般登山には不適合か!?)

※登山口にはこんな看板。



そして案の定、しょっぱなからルートが藪だった...

歩き始めて20分後、沢コースと巻道との分岐。Yさん達から、雪渓の可能性を避けるために巻道を通ったとの連絡を受けていたので、おれらも巻道を選ぶが... 🤔

薄暗い樹林帯、鬱蒼と茂る草木、ぬかるんだ土壌、そのどれもが暑苦しさを倍増させる💧💧💧 遠くからは涼しげな沢の音が遠くから聞こえるので、やはり沢を歩けばよかったか!? 🤔

ようやく沢に出てひと休憩。沢の水で顔をさっぱり洗う。



さて、ここから沢登りが始まる。行ったるぜい。



この大きな一枚岩を登ってから...、何かがおかしいことに気づく😓

本来この付近には、①割引沢 & 天狗尾根ルート、②ヌクビ沢ルート、の二つがあり、①を登る予定だった。先程の巻道を終えた時点で、①②両方の沢が見えるはずなのに、沢が一本しかない...

地図をよーーーーーく見ると、巻道終点は②を若干登り始めた所にあり、①に出るためには、この沢を下らなければならないようだ...👇

②を登ろうかとも話し合ったが、Yさん達が①を通っているはずだからと、結局は①の沢に向かって沢下り(!?)が始まる。段差のある岩場を無理やり下ったり、巻き道に入ったりで、無事に①には出たものの、この間 30 分のロス...🙄



①②分岐点から見上げた、②ヌクビ沢。ここを下ってきました。



こちらが正解。①割引沢。

気を取り直して、こちらを登り始めてみたものの、想定以上の雪渓につまる...



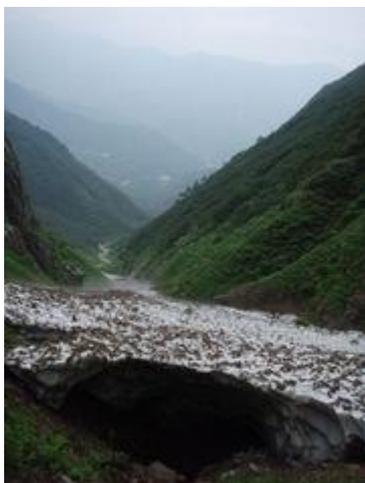
しかも、雪渓の下は空洞...

いまさらこの沢を下る気にもなれないので、登り続けることにする。できるだけ空洞になっていない雪渓を歩いているつもりだが、歩き始めたとたんに崩れはしないか、と気が気ではなかった。



慎重に登るロン。

一度、雪渓から離れ、右岸の岩場を歩いてみたが、やがて岩場は草むらに変わり、藪となり、かろうじてついていたトレースも消え...、結局再び沢に戻って、雪渓登り。結局、割引沢に出てから 8 割は雪渓だった、と言っても過言ではない。(やはり 8 月は失敗だったか!?)



登り終え、振り返った割引沢。

ここからは、急斜面の尾根道、



天狗尾根取付点。

ここからいきなり、やぶ、ヤブ、藪。。。迷う🌀でも方角的には間違っていないはずなので、かなりの急斜面を無理やり登ると、

曲がりなりとも、登山道に出た～✨

といっても、とても登山道とは呼べず、けもの道!? 地図なら点線ルートでもおかしくはないような...!?



これ、花の写真を撮ったわけではありません。この花を掻き分けて進みました。



以後、ずっとこんな感じ。

つかめるものは抜けやすい草ばかり。しかも足元は滑りやすいし、蛇が2匹も出た〜🐍

そして、天狗ノ池。



尾根の終盤は、森林限界を超えているにもかかわらず、



熊笹や雑草(!?)が生い茂っている分、すっきりしない...🙄 しかもだんだんガスも出てきたが、なんとか無事に、



登頂!!✌️

今登ってきた道を振り返れば、



こんな看板が。そりゃそうだろ～。

ここから巻機山まで、天気良ければ草原のような景色が広がるはずだったが、この日は真っ白。



巻機山山頂!!

しかし、この標識の位置と、地図上の山頂の位置がずれているようで(!?)、少しウロウロしてみるが、本物の山頂を発見できず... 📍👉

ちょうどここで、携帯の電波が入り、留守電に気づく。Kさん達から、12:36に下山し始めたとのこと。今は13:20。急いで下山だー 📍👉



下山し始めてからすぐの避難小屋は新しく、とても清潔。



避難小屋付近。一瞬だけガスが抜けたが✨✨

その後は再びガスの中を下山。かなり急ぎ足で下り、結局、駐車場でYさん達に会える!!

聞けば、Yさん達は、最初の巻道を終えた所にあった沢(上述の②ヌクビ沢ルート)をそのまま登ってしまったとのこと。いいなあ、絶対にそちら側のルートの方が気持ちよく登れそうですよ～。

こうして、想定外ばかりの日帰り山行は無事終了。

決して、沢ノボラー、雪ノボラー、藪コギニストを目指しているわけではないのですが、登山家としてのレベルを上げるには、こういった場所も避けては通れないところなのかね!? とロンと話す。

かなり刺激的な一日でした🤔

★歩行時間

7:15 登山口

7:35 分岐(→巻道)

8:25-8:40 巻道終点(→ヌクビ沢の布干岩下部に出る)

8:45 ヌクビ沢にいることに気づき、沢を下り始める。

9:10 割引沢とヌクビ沢の分岐 (→割引沢へ突入し、雪溪...)

10:25-10:40 天狗尾根取付点 (雪溪終了、急登始まる)

11:25-11:40 休憩

11:50 天狗ノ池

12:15-12:30 割引岳

12:45-13:10 巻機山(標識)

(→この間、山頂界限をウロウロするが、本物の山頂を発見できず)

13:20 巻機山(標識)

13:45 避難小屋

14:25 六合目

14:45-14:55 五合目

15:30 登山口

★アプローチ:車

都内 → 関越道六日町 IC → 巻機山登山口

★温泉

日章館(六日町駅付近の温泉街。)